

図書館ホームページ (パソコン) <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

(携帯) <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/>

「ざ・ちゅうおう ぷれす」は、世田谷区のホームページでもご覧いただけます。

世田谷図書館

新築移転してリニューアルオープン

2016年9月1日(木) 世田谷合同庁舎の1階にリニューアルオープンしました。月曜日も開館し、開館時間も延長されました。また、閲覧席も増設され、小鳥のさえずりを聞きながら本を読める「けやきの閲覧室」もできました。新しくなった世田谷図書館を、どうぞご利用ください。



図書館入口



けやきの閲覧室



カウンター

中央図書館カレンダー

11月							12月							1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28				

開館時間

火～日 10:00～19:00
 月・祝・休日 10:00～17:00

■ は、世田谷区立中央図書館休館日です。
■ は、17時に閉館です。

住総研図書室

住まいの専門図書室

世田谷の活字拠点を訪ねて・4

私たちの生活の基^{もと}となる「衣食住」。その中で「すまい」に関する多彩な情報を幅広く収集し公開している専門図書館が、区立船橋希望中学校のそばにある「住総研図書室（住まいの専門図書室）」です。

住総研入口



昭和 23 年、当時の清水建設社長であった故清水康雄氏の発起により、戦後の窮迫した住宅問題を解決するために財団法人が設立されました。現在は一般財団法人 住総研として、住まいに関する総合的研究・実践並びに人材育成を推進し、その成果を広く社会に還元することで住生活の向上に資することを目的に活動を継続されています。

住総研図書室は、昭和 59 年（1984 年）に現在の場所（世田谷区船橋 4 丁目）に住総研の社屋が新設された時に開設されました。住関連の研究や活動の参考となる基礎資料や書籍を収集しており、研究者だけでなく、誰でも無料で利用することができます。



住総研の機関誌『すまいろん』が置かれています。
『すまいろん』は中央図書館でも所蔵しています。

入口の扉を開け 2 階に上がると閲覧室があります。ここには大型本の書棚のほか、住総研の出版物及び関連した出版物が置かれています。

閲覧室



住まいの本展（年 1 回開催）

取材で訪問した日は閲覧室で「住まいの本展」が開催されていました。住総研では毎年、研究テーマを設定して活動されているそうです。今年度は「住環境について考える」と題し、地球環境、地域・社会の環境、エコハウス・省エネ住宅、シックハウス・健康、環境教育などの分野ごとに関連本が展示されていました。

閲覧室の先に書架があります。蔵書数は、住宅に関するものを中心に約 23,000 冊とのこと。また、更に雑誌は約 90 タイトル（和 70、洋 20）を所蔵されています。図書室では、本が自由に閲覧できます。なお、資料の貸出しは行っておらず、閲覧のみとのことです。

住総研図書室の特色として、次のようなコーナーが設けられています。

- | | |
|-------------------|--|
| 震災・災害コーナー | 震災や災害の関連資料が集められています。 |
| 住教育コーナー | 住まいに関する絵本や家庭科教科書・教材等が集められています。 |
| 建築古書コーナー | 明治から戦前に発行された建築関連本が集められています。 |
| 研究者エッセンス文庫 | 著名な住関連研究者の主要な研究資料、業績を集約したものです。内田雄造文庫、巽和夫文庫、小谷部育子文庫、鈴木成文文庫が整備済みで、今後も充実させていく予定だそうです。 |

図書室にはこの他にも、住宅と関係の深い社会学・民族学・教育学などの関連分野の図書も幅広く置かれています。

図書室の蔵書は、住総研図書室・検索ページ（<http://www.jusoken.or.jp/search1.htm>）で検索ができます。

住教育コーナー



また、住総研では子どもの住教育にも取り組まれています。取材に対応して下さった研究推進部長の馬場さんは、『住まいは、学校教育では家庭科の分野に含まれます。しかし、衣食住の「住」について取り上げられることはあまり多くありません。理科や社会や図工と絡めて、総合的な学習として取り組むことができれば、と考えています。本を読むだけでなく、実際にやってみる。実践と絡める学びは身につくと思います。』とおっしゃっていました。住総研図書室では毎年、子どもの住教育の一環として「こども図工教室」を実施されているとのこと。詳しくは、住総研図書室へお問い合わせください。

住総研図書室 住まいの専門図書室

所在地 世田谷区船橋 4 - 29 - 8

電話 03 - 3484 - 5381

F A X 03 - 3484 - 5794

アクセス

小田急線「経堂駅」「千歳船橋駅」または京王線「八幡山駅」よりバス

（詳しくはホームページをご覧ください。）

開室時間 9 : 00 ~ 12 : 00 / 13 : 00 ~ 16 : 00

休室日 土日祝祭日、年末年始、夏季休暇、その他

ホームページ <http://www.jusoken.or.jp/library/index.html>



夏休みに燃える2日間！第5回子ども読書リーダー(子ども司書)講座開催

1日目:7月29日(金)または30日(土) / 2日目:8月3日(水) 受講者42人(対象小学5・6年生)

1日目:「調べ学習」体験

テーマを自分で決めて、図書館の本を使って調べます。その後、調べた結果を模造紙にまとめてみんなの前で発表しました。(写真右)「真田幸村」「チョコレート」「水と人間の関係」「えんぴつのひみつ」「ももんのなぞ」など、様々なテーマに取り組みました。



2日目:絵本の読み聞かせや図書館の仕事について習います



絵本の持ち方や読み方など読み聞かせの基本を図書館の職員から教えてもらい、しっかり練習をします。そして本番!!図書館の「おはなし会」で実践です!(写真左)ハラハラ・ドキドキ、緊張しながらもリハーサルより上手に読めた子も。小さい子どもたちが真剣に聞いてくれるのが励みになっているようです。

その他、本にビニールコーティングする練習や、予約が入った本を書棚から引き抜く作業など、いろいろな図書館の仕事をしました。

2日間受講した人に、1日目の記念写真入りの修了証(写真右)が授与されました。



アンケートには、「わからないことを本を使って調べることがおもしろかった」「聞き手が最後までニコニコして聞いてくれてうれしかった」「また、やりたい!」など頼もしいものがありました。

中央図書館では、早速8月21日の「おはなし会」や「ぬいぐるみおとまり会」のお手伝いをしてくれたリーダーさんもいます。

これからも、地域・学校などでも活躍できるよう全館あげて子ども読書リーダー(子ども司書)育成に取り組んでいきます。

図書館で
子ども読書リーダーを
見かけたら
優しく見守って
ください。

第4回「ぬいぐるみおとまり会」参加:16組(子ども&ぬいぐるみ) / 8月24日(水)~26日(金)



ぬいぐるみ館長によるおはなし会の様子

2日ぶりの再会にニンマリ



写真を入れた手作りカードを渡しました

図書館に幼い頃から親しみを覚えてもらおうとアメリカではじまったこのイベント。日本にも広まり、全国各地で開催されています。

子どもたちの大好きなぬいぐるみをあずかり、閉館後の図書館でどのように過ごしているのか、子どもたちに想像してもらいます。

ぬいぐるみとの再会の日、おとまり会の様子を撮った写真入りカードをプレゼント。そしてここがポイント、年齢、ぬいぐるみを考慮して図書館員が選んだおすすめの本を借りて帰っていただきます!

ぬいぐるみたちがいかにも図書館で楽しく過ごしているような、いきいきとした写真を撮るのは難しいのですが、今年も東京都市大学人間科学部児童学科の皆さんのご協力で楽しい写真がたくさん撮れました。アルバムが子どもコーナーにありますのでぜひご覧ください。

第2回中高生向け「POP講座」開催!

8月26日(金)・砧図書館&27日(土)・中央図書館 / 講師 おおとりょうき 押樋良樹氏(図書館コミュニケーションデザイナー)

自分の好きな本を持参してもらい、実際にPOPを作製しました。最初、本の魅力を伝えることの難しさに苦心している様子でしたが、講師にアドバイスをもらいながら、楽しんで作業をしていました。

POPというと、あらすじを文章で書くものと思っていましたが、その本のインパクトある一言を書くだけでも、魅力を伝えられるということに、「ハッ!」と驚かされました。POPの形も自由で、四角の作品もあれば、楽器の形になっている作品もありました。

2時間という短い時間でしたが、全員がPOP作品を完成させることができ、非常に内容の濃い充実したものとなりました。



完成したPOP作品

中高生向け講演会「真夜中のディズニーで考えた働く幸せ」

8月28日(日)中央図書館

世田谷区立図書館発行の中高生向けブックリスト「SETAYOMI」で紹介している『真夜中のディズニーで考えた働く幸せ』の著者である鎌田洋さんに、中高生に向けて講演をしていただきました。講師の鎌田洋さんは、商社、住宅メーカー勤務を経て、(株)オリエンタルランドに入社し、東京ディズニーランドオープンにともない、掃除のキャスト(働く人)を育成された経歴をお持ちです。講演では鎌田さんがディズニーで働くまでのご苦労や、実際に働き出してから理想と現実のギャップに戸惑ったお話などを気さくにお話していただきました。



講演の様子

アンケートからは、「今日の講演で夢は諦めないこと、自分で考えて行動するなどいろいろなことを学びました。今日の講演で学んだことは忘れずに、これからは生かしていきたいです。」「とても将来について参考になりました。諦めずに努力しつづけたと思います。」など、とても熱心な感想をたくさんいただきました。将来に向き合う中高生の心を打つ講演となったようでした。

鎌田洋さんの著作は、世田谷区立図書館でも多く所蔵しています。是非読んでみてください。

第7回 読書の秋の講演会「落語と読書」

9月17日(土)中央図書館

図書館司書の資格を持つ噺家の入船亭扇治師匠をお迎えしました。登壇した師匠は、まず、江戸の情緒と共に江戸っ子の心意気と反骨精神あふれる古典落語「たがや」を一席。続いて図書館をテーマにした新作落語は、『ごんぎつね』(新美南吉著)や『かちかち山』を取り入れた、子どもも楽しめるおはなしでした。

中入りのあとは古典落語「井戸の茶碗」。正直を美徳とする人々の哀歓を描く人情噺です。長い話でしたが、皆、師匠の熱演に引き込まれ、聞き入っていました。語り終えたあとは師匠のトークもあり、落語の楽しさとともに、出版・活字文化・図書館を考える講演会となりました。

アンケートからは、「真打の落語3題とは贅沢な時間である。そのあとのトークもすばらしかった」「幅広い年齢の方に伝わりやすい話の内容で楽しく聞く事が出来ました」などの感想がありました。当日は、101人の方にお越しいただき、大盛況の中終了しました。



楽しい落語で会場をわかせる扇治師匠



新着図書案内



『ファンタジーへの誘い -ストーリーテラーのことは-』 堀川アサコ〔ほか述〕 (徳間書店)



たにみずえ 谷瑞恵、にたどりけい 似鳥鶏など、今を
ときめく旬のファンタジー小
説作家たち、10名が自分た
ちの読書体験を語ります。

どの様な読書環境にあったか、影響を受け
た本や作家、どの様なジャンルが好みだった
のか?! ヒット作を生み出すきっかけや、賞
を取った時のこと、「作家になろう、なりたい」
と考えたのはいつなのかなど、それぞれ違っ
ていて、興味が湧いてきます。

各作家のおすすめのファンタジー小説も紹
介されており、「読書の秋」に読んでみるのに
最適です。

【請求記号 児童研究書 9102ふ】

『ディズニーを目指した男大川博 - 忘れられた創業者 - 』 津堅信之著 (日本評論社)



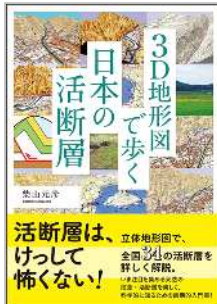
東映を映画会社の雄にした
経営者であり、プロ野球「東
映フライヤーズ」オーナーで
あった大川博。決して無名な
人物ではありませんが、著者
はその評価が不可解な低評価のまま歴史に埋没し
かかっていると言います。

本書では、映画産業を中心とした総合娯楽事業
を目指した人物像と仕事の全貌を洗い直し、現在
の日本のエンターテインメント産業の隆盛にいたる
現況の一端を示そうとしています。特に長編アニメ
を創始した「東映動画」の設立者でもあることに
注目していて、そこに書名の由来があります。

日本のエンターテインメント史を考えるうえで
も、参考となる一冊です。

【請求記号 2891おひ】

『3D地形図で歩く日本の活断層』 柴山元彦著 (創元社)



「活断層」がどういうもの
か、あまり知られてはいた
せん。地震を引き起こす怖い
ものであるかのように思われ
ていることも多いです。

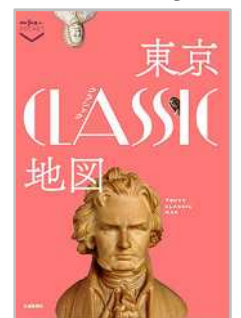
本書は、活断層の仕組みや特徴、私たちの
生活との関わりを、3D地形図をはじめ地図
やイラストを組み合わせることでわかり易く解説し
ています。

また、日本全国34ヶ所の活断層について
のくわしい解説もあり、身近に感じられる内
容になっています。

著者が実際に訪ねた活断層へのアクセス方
法、断層地形を観察しやすい場所、断層に関
わる観光地なども紹介されていて、活断層を
めぐる旅にぜひ出かけてみたいくなる本です。

【請求記号 4544し】

『東京CLASSIC地図 (散歩の達人POCKET)』 (交通新聞社)



音楽の1ジャンルである
クラシック。CM、運動会、
卒業式や店舗のBGMなど、
耳にする機会が多いと思
います。

本書では、都内(区・市)
の名曲喫茶、レストランやバー、音楽ホール、
クラシック専門のCD・レコード店などを写
真と地図で紹介しています。

また、初めてコンサートホールに行く方へ
の流儀(マナーなど)の説明、クラシックイ
ベントの紹介やテレビ・ラジオ・インター
ネットのクラシック番組が紹介されています。

是非、この本を読んでクラシックの楽しさ
を再発見してみてください。本書は2007
年刊の増補改訂版です。

【請求記号 7604と】

図書館トピック

～世田谷区立図書館にまつわる各種情報をまとめてお知らせします～

世田谷区立図書館パスファインダー第1号発行します！

パスファインダーは、特定の主題に関連する資料の探し方を1枚にまとめたリーフレットです。情報を探すための「道しるべ」ともいわれています。パスファインダー第1号『世田谷区の「道の歴史」を調べる』を発行しました。各図書館においてあります。調べものにご活用ください。

世田谷区立図書館 パスファインダー 第1号	2016(平成28)年10月作成
世田谷区の「道の歴史」を調べる	
「道」は私たちの生活に不可欠なものです。なごびなく通っているその道にも、長い歴史・先人たちの苦労があります。区内を通る主な「道の歴史」の調べ方を紹介します。	

参考となる図書、雑誌、その他インターネット情報などを紹介しています。

『暮らしの手帖』創刊号を見ることができます！



朝の連続ドラマで話題となった雑誌『暮らしの手帖』。1948年創刊の歴史ある雑誌です。当館では創刊号より保存しています。(数冊まとめて製本している号もあります。) ご覧になりたい方は中央図書館地下1階にあるレファレンスカウンターにお越しください。貸出もしています。
*月刊誌は通常1年経過すると保存庫へ移しています。

レファレンス ～こんな相談がありました～



戦前に見た『日米もし戦わば』という本を見たい。オレンジ色の分厚い本だった。著者・出版社はわからない。

タイトルから国会図書館で2件確認されました。いずれも大正時代の文献でした。
『日米若し戦はば』(佐藤鋼次郎著 目黒分店)
『日米若し戦はゞ』(田村昌一郎著 文泉書院)
どちらもデジタル化されて国会図書館のホームページで公開しており、読むことができます。

1964年(昭和39年)前後の、洋食屋の店員さんの制服が見たい。できれば全身が写っているカラーの写真で。



まずは洋食の歴史について書かれた資料を検索し、確認しましたが制服の移り変わりなどは掲載されていませんでした。そこで昭和史、洋服の歴史、社史、写真集などに絞ってみると、兵庫県の歴史のコーナーで『昭和の神戸—昭和10～50年代—』(飯塚富郎写真 光村推古書店)から1959年の店員さんの集合写真、地域資料では『長野重一写真集 東京1950年代』(長野重一写真 岩波書店)から、1955年に撮影された店員さんの全身の写真を見つけることができました。ただし、すべて白黒写真のため、色については『東京オリンピックと新幹線』(行吉正一編 幻冬舎)に載っている1960年の食堂車の乗務員さんのカラー写真を参考にいただきました。

年代が少し遡るものの、ご相談を受けてから期限までが短かったため、今回はこちらをご提供しました。

図書館からのお知らせ

～文字・活字文化の日記念講演会～

旅の不思議、書物の不思議

日時：11月20日(日)

午後1時30分～4時

会場：成城ホール

内容：子ども読書リーダーによる朗読
作家・沢木耕太郎氏の講演

対象：小学生以上、先着300名

申込：11月1日(火)～11月13日(日)の間に
電話またはFAXで「せたがやコール」へ。

電話：5432-3333 FAX：5432-3100



おはなし会ボランティア養成講座 (ステップアップ)

すでにおはなし会ボランティアを経験されている方のための講座です。

はじめてのブックトーク

子どもに物語の読み聞かせを

「なぞり聞かせ」にチャレンジ

発声講習会 相手に届きやすい声とは？

以上の3つの講座から1つ選んで申し込み下さい。詳細は、区のおしらせ「せたがや」

11月1日号、および同日より配布予定の館内のちらしをご覧ください。

学びのプレゼン～学習活動発表会 発表者募集！

図書館の資料等を利用して学習活動をしているあなたに！活動発表をしてみませんか？時間は20分、テーマは自由です。詳細は、図書館窓口にある「募集要領」をご覧ください。(応募締切は11月11日(金))発表会は、平成29年1月21日(土)午後2時～4時、教育センターにて行います。

～子ども読書活動推進フォーラム～

テーマ：子どもとメディア(仮題)

日時：平成29年2月11日(土)

午後1時30分～4時30分

会場：教育センター3階(中央図書館)

申込：事前申込不要。当日会場へ。保育可。

詳細は、区のおしらせ「せたがや」1月1日号、および1月4日より配布予定の館内のちらしをご覧ください。

～家庭読書の日記念講演会～

水中写真家が語る海、本、家族

日時：12月3日(土)午後2時～4時

会場：教育センター3階(中央図書館)

内容：家庭読書の日記念標語表彰式
写真家・中村征夫氏の講演

申込：

11月15日(火)～

11月30日(水)の間に電話
またはFAXで「せたがやコール」へ。保育可。(24日(木)
までに要申込。)

電話：5432-3333

FAX：5432-3100



編集後記

気象庁によると、今年の9月中旬以降の日照時間は、平年の半分以下だったそうです。秋雨の音を聴きながら、部屋の中で本を読んで過ごされた方も多いのではないのでしょうか。秋は読書の季節ともいわれます。中国・唐の文人であった韓愈の詩の一節に「灯火親しむべし」という言葉があり、「秋になると涼しくなり夜も長くなって、灯火の下で読書するのに適している。」との意味から、「読書の秋」という言葉ができたといわれています。10月27日から11月9日は読書週間です。9月にリニューアルオープンした世田谷図書館をはじめ、区立図書館で「読書の秋」をお楽しみください。